

## NSK安全宣言

- 私たちは危険予知活動と指差し呼称を徹底します。
- 私たちは指示、作業手順を厳守します。
- 私たちは報告、連絡、相談を徹底します。

## 安全衛生月間目標（7月）

### 現場パトロールの励行

1. 作業内容に合わせて重点的に実施
2. 書面による改善指示書の発行
3. パトロール実施記録の保管

安全標語（第1位）

高めよう安全意識！極めよう安全品質！掴みとろうお客様の信頼！

## イベントスケジュール

イベント	7月	8月	9月
安全衛生委員会開催	7月20日	8月24日	9月21日
安全衛生教育 ・職長・安全衛生責任者教育（新規・更新） ・低圧電気取扱特別教育		随時開催	
危険予知訓練（TBM・KY研修） 社員・施工パートナー対象		随時開催	
安全品質管理室主管安全パトロール	東京・他地区	東京・他地区	東京・他地区
NSK安全衛生通信発信	-	-	9月4日
施工パートナー安全衛生協議会	東京 7月13日	-	東京 関西 9月14日
全国安全週間（厚生労働省主唱）	7月1日～7日	-	-

プラスのクリーンフェス2017に参加 東京・大阪 5/12撮影

## NSK安全のための4つの施策



安全パトロール

管理

活動

東京地区

各部門の取り組み

NSK作業基本姿勢講座

教育

対策

全国安全週間の活動



法令遵守  
“ヨシ!!”



具体的な活動報告など裏面へ掲載 ⇒

## 安全パトロール

毎月の安全衛生委員会で安全パトロールの報告を行なっています。実施者からの良かった点と指摘事項についてご紹介します。

〈〇良かった点〉

1. 高所作業にはアップスター(昇降式移動足場)を用意し、スタビライザーにより安全に固定し、必要に応じた脚立の準備と使用ができていた
2. 高所作業場所が2か所に分かれる際、それぞれにリーダーが指し示を出していた

〈×指摘した点〉

1. 点検口の内蓋を外さずに配線作業をしていたため、その場で内蓋を外して作業するように改善指導した
2. 資材置き場を、カラーコーンとコーンバーを使用して区画する様に指摘した

今回は高所作業での安全パトロール報告の一部をご紹介します。現場での安全確保の為に作業班にあわせた複数人による管理監督が欠かせません。また現場を整理整頓し心の準備をすることから作業を始め、お客様に安心安全をお届けする活動をして参ります。

※アップスター  
使用による高所作業状況



## 各部門の取り組み

弊社では毎年、全国安全週間の準備期間(6/1~6/30)に、安全衛生活動の意識高揚を図るため、施工パートナー様をお招きし全国の北は北海道地区から南は九州地区(沖縄)まで10地区において開催しております。2017年度NSK安全大会統一テーマは

『皆で意識 足並みそろえて 未来へ結ぼう安全文化』です。今回は東京地区で開催した安全大会をご紹介します。

【東京地区安全大会のプログラム概要】

- ・役員挨拶/本年度活動方針と活動報告
- ・熱中症対策緊急講演 『職場で起こる熱中症を防ごう』
- ・施工パートナー安全衛生協議会  
『脚立を使った高所作業の危険について』実演/ビデオ
- ・安全表彰/1年を通して特に優れた安全衛生活動を行なって頂いた施工パートナー様を、全国で表彰しています。
- ・安全標語/全国の社員、施工パートナー様から475作品が応募され厳正な審査の結果、4作品(3位2作品)が選ばれました。

※「脚立を使った高所作業の危険」実演の様子



## 安全

管理

活動

教育

対策

## NSK作業基本姿勢講座

「NSK作業基本姿勢講座」を全国の弊社現業社員に向けて、5月より開催しております。

弊社が目指す<安全と品質>を確保した施工を実現するため、強みである現場作業の原点となる基本教育、更に現場作業における遵守事項について、再確認と周知徹底をすることにより、安全確保と施工品質、施工マナーの向上を目指しています。また、お客様が満足するサービスを提供しつづける事を弊社社員が改めて見つめ直す機会として開催しております。

尚、この基本講座の教育は、基本の繰り返しの教育が重要ととらえ、毎年開催する事に致しました。

実施期間 : 今年度 5月から 9月末  
対象者 : 弊社の施工案件において  
受注・工事手配・施工管理  
を担当する社員全員が受講  
受講実績 : (6/30時点修了者)  
東京地区121名  
大阪営業所全員  
名古屋営業所全員

※6/8受講風景



## 全国安全週間の活動

「組織で進める安全管理  
みんなで取り組む安全活動  
未来へつなげよう安全文化」  
※全国安全週間 スローガン 厚生労働省より

7月1日から7月7日までの1週間を全国安全週間としてより一層の安全意識の向上、現場での安全確認を強化する活動週間となっています。今年で90回目となる全国安全週間は、労働災害を防止するために建設業や製造業などの産業界での自主的な安全活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的とされています。また、1か月前に当たる6月1日から6月30日の1か月間を準備期間として各作業場の巡視やスローガンの掲示などを行ない、弊社では全国10カ所にて安全大会を開催して協力会社と共に安全意識の高揚を図っています。

【安全週間活動例】

6月30日(金)趣旨徹底	安全週間の意義と重要性の強調並びに行事予定を説明
7月1日(土)休養の日	ゆっくりと休養
7月2日(日)家庭の日	安全衛生について家族で考える
7月3日(月)総点検の日	保護帽・安全帯・手袋等の保護具の点検と装着の確認
7月4日(火)パトロールの日	安全パトロールを実施し、TBM・KYの実施状況を確認
7月5日(水)教育の日	事例を用いた社員同士の勉強会開催
7月6日(木)パトロールの日	有資格者配置の確認
7月7日(金)反省の日	今後の安全管理のあり方、取り組み方について討議・検討

## コラム

## 電気通信工事の国家資格創設へ！



NSK株式会社

〒102-0074

東京都千代田区九段南2-3-1  
青葉第一ビル

URL: <http://www.nsk-net.co.jp>

国土交通省は電気通信工事に国家資格の「施工管理技士」を創設するため、技術検定制度の具体的な検討を始めた。技術検定の種目に電気通信工事を新設。既存種目と同様に1、2級を設け、学科と実地で試験を行う。電気通信主任技術者(総務省所管の国家資格)には実務経験年数でインセンティブを与える。建設業法施行令の改正や試験機関の指定などを経て、18年度以降に実施する。

施工管理技術検定に新種目が創設されるのは約30年ぶりとなる。

～中略～

建設業法に基づく技術検定は、土木、建築、管工事、電気工事、建設機械、造園の6種目それぞれに1級と2級があり、学科試験と実地試験で構成する。1級施工管理技士の資格者は監理技術者、2級は主任技術者になれる。建設業許可の29業種のうち、▽機械器具設置▽電気通信▽さく井▽消防施設▽清掃施設-の5業種は技術検定が設定されていない。

※建設工業新聞 2月10日 1面記事より抜粋